

第 23 回 橋に関するシンポジウム



「橋梁のコンピューティング技術」

我が国では、少子高齢化による人口減少が急速に進んでおり、深刻さを増す人手不足の克服と生産性の向上が喫緊の課題となっている。また、高度経済成長期に整備され、建設後 50 年を経過した道路や橋梁などの交通インフラも増加し、今後それらの維持管理・更新費用が増大するとともに、将来の担い手不足が課題となる中では、新技術の導入によるコスト削減や I T・ビッグデータを活用した予防保全を進め、計画的・効率的にインフラの長寿命化を図ることが不可欠となっている。

このような社会背景のもと、国土交通省では 2016 年を「生産性革命元年」と位置づけ、省内に国土交通大臣を本部長とする「国土交通省生産性革命本部」が設置され、生産性革命プロジェクトがスタートしている。そのプロジェクトの 1 つとして、ICT (Information and Communication Technology) 技術の活用等により、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までのあらゆる建設生産プロセスにおいて、生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組みとして、「i-Construction (アイ・コンストラクション)」が推進されている。

また、2017 年 1 月には、「i-Construction」を推進するため、様々な分野の産学官が連携して、IoT・人工知能 (AI) などの革新的な技術の現場導入や、3 次元データの活用などを進めることで、生産性が高く魅力的な新しい建設現場を創出することを目的として、「i-Construction 推進コンソーシアム」が設立され、最新技術の現場導入のための新技術発掘や企業間連携促進、3 次元データ利活用促進のためのデータ標準やオープンデータ化、i-Construction の海外展開などの取組みがされている。

橋に関するシンポジウムでは、橋梁分野における生産性・安全性向上のための取り組みである i-Bridge (アイ・ブリッジ) や BIM/CIM、AI やロボットの活用なども含め、幅広く、橋梁事業に関連するこれらの新たなコンピューティング技術について、現在の状況を認識するとともに、今後の展望などについて議論することといたしました。

行事コード：252002 略称：23 回橋シンポジウム

1. 主 催：土木学会 (担当：鋼構造委員会)

後 援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会、建設コンサルタント協会、
中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社 (予定)

2. 日 時：2020 年 9 月 16 日 (水) 13:00～17:15 (予定)

場 所：オンラインシンポジウム (YouTube によるライブ配信予定)

3. 参加費：一般 2, 0 0 0 円、学生無料

4. 申込み締切日：2020年9月13日（日）

5. 申込方法：

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内からお申し込み下さい。

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

申込到着後、請求書を郵送いたします。参加用の URL 等は開催 2 日前までにメールにて連絡
予定です。（詳細検討中）

※申込みに関してのお願い

(1) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。なお、所属先の経理上の都合により事前振
込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。

※締切日に近い申込ですと開催日までに請求書が間に合わない場合がございますが、その
際は開催後にお振込みください。

(2) 締切日以降の受付はいたしません。

(3) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記の「問
合先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであ
らかじめご了承ください。

(4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたし
ます。

6. 問合先：土木学会研究事業課 桃井

MAIL momoi “at” jsce.or.jp（“at”を@に変更して下さい）

7. プログラム

- (1) 開会の挨拶 (13:00～13:05) 鋼構造委員会 委員長
(2) 委員会活動報告 (13:05～13:15) 鋼構造委員会 幹事長

【基調講演】

- (3) 「橋梁の維持管理における AI 技術の動向と今後の展望」
東京大学 大学院工学系研究科 附属総合研究機構 特任准教授 全 邦釘 様
(13:15～14:15)

【話題提供】

- (4) 「土木設計分野における新たな BIMCIM ソリューションによる生産性改革の取り組み」
パシフィックコンサルタンツ株式会社 本社 事業強化推進部
i-Construction 推進センター 技術統括部長 伊東 靖 様
(14:15～14:45)

- (5) 「淀川大橋における 3D 計測を活用した鋼床版取替事例報告」
株式会社 I H I インフラシステム 伊藤 安男 様
(14:45～15:15)

～～～ 休 憩 (15:15～15:40) ～～～

- (6) 「インフラのモニタリング技術の現状と課題および計測データからの健全度評価技術の例」
京都大学大学院地球環境学堂 客員教授 高瀬 和男 様
(15:40～16:10)

- (7) 「橋梁におけるドローンと 3D データ活用の最前線」
ルーチェサーチ株式会社 代表取締役 渡辺 豊 様
(16:10～16:40)

- (8) 「長大橋の維持管理ロボット」
本州四国連絡高速道路株式会社 保全部 次 長 廣田 昭次 様
橋梁保全課長 臼田 幸生 様
(16:40～17:10)

- (9) 閉会の挨拶 鋼構造委員会 副委員長
(17:10～17:15)

以 上